

留学生のための就職支援教材活用の試み

An Attempt to Utilize Job Hunting Support Materials for International Students

山下 誠矢[※]

Seiya Yamashita[※]

Abstract

This paper reports on an attempt to utilize job hunting support materials for international students who are seeking employment in Japan. As a contributing author, I was involved in the preparation of “An Introduction to Job Hunting for International Students” as a job hunting support material for international students who are seeking employment in Japan. The purpose of this book is to help international students who aim to find a job in Japan to have an accurate knowledge of job hunting activities in Japanese companies. In “An Introduction to Job Hunting for International Students”, the author organized information that international students may need for job hunting in Japan, and wrote a table of contents based on this information. Since its publication, the author has been providing job hunting support for international students using the book in a special seminar at the Japan University of Economics, since April 2021. Although there is room for improvement, evaluations by international students who have actually used the book have been favorable. Therefore, it is considered that “An Introduction to Job Hunting for International Students” is useful in providing job hunting support for international students who are seeking employment in Japan.

Key words

international students, employment support, support materials, Japanese companies, job hunting

1. はじめに

法務省が2018年3月27日に公表した「2017年末現在における在留外国人数について（確定値）」によれば、在留資格「留学」を有する留学生の総数は、311,505人（対前年末比34,174人（12.3%）増）であった¹⁾。つまり、「留学生30万人計画」は、2017年末時点で数値上達成された²⁾。

専門学校や大学等において留学生の受入れが増加する中、日本企業では、深刻な人手不足や国内需要の飽和による経営のグローバル化に適応するために、近年では留学生の積極的な新卒採用活動が行われている。それに伴って、日本企業に就職する留学生は、様々な業種において増加している。表1は、留学生が日本企業に就職を目的として在留資格変更許可申請を行った処分数等の推移を示したものである。

[※]日本経済大学経営学部経営学科

表1 留学生の就職目的の処分数等の推移

	2017年	2018年	2019年
処分数	27,926人	30,924人	38,711人
許可数	22,419人	25,942人	30,947人
不許可数	5,507人	4,982人	7,764人
許可率	80.3%	83.9%	79.9%

(出所) 法務省(2020). 「2019年における留学生の日本企業等への就職状況について」, <http://www.moj.go.jp/isa/content/001336801.pdf>, 2021年9月30日。

2017年から2019年までの在留資格変更許可申請の許可数の推移からは、日本で就職した留学生数が増加していることが分かる。このような数値的な状況や日本で就職を目指す留学生の疑問を鑑み、留学生教育に携わる筆者は、日本で就職を目指す留学生の就職支援を行うために、これまでに分担執筆者として留学生が日本の就職活動に必要な情報を整理した『留学生の日本就職ガイド2021』『留学生の就活入門』の作成に携わった。

まず、『留学生の日本就職ガイド2021』は、2019年に出版された。次に、『留学生の就活入門』は、留学生が読み易く理解し易いように『留学生の日本就職ガイド2021』の内容を6割ほどに減らし、漢字の総ルビ化及び情報更新を講じて2020年に出版された。『留学生の就活入門』は、2021年4月から筆者の専門ゼミナールの教科書として使用している。

2. 『留学生の就活入門』の出版背景

『留学生の就活入門』の出版背景には、日本で就職を目指す留学生の疑問に答えるような留学生のための就職支援教材が少ないことが挙げられる。これまでに日本で就職を目指す留学生の疑問について、筆者は、早稲田文理専門学校での卒業年次の進路指導や日本経済大学での卒業年次の専門ゼミナールの就職活動の支援等の際に聞く機会があった。

筆者は、2012年4月から2016年3月まで早稲田文理専門学校で留学生を対象とした入試広報、教務、進路指導等の学校の一連の校務を経験した。特に、卒業年次の留学生の進路指導では、教務の傍ら進路個別面談、インターンシップ参加支援、求人開拓、学内合同企業説明会の運営支援、履歴書作成支援、面接指導、内定先応対、在留資格変更許可申請の手続き支援、東京入国管理局訪問、卒業後の未就職者支援等の留学生の就職活動に必要な支援に携わった。その後、筆者は、2016年4月から日本経済大学で留学生教育に携わっている。現在、卒業年次の専門ゼミナールで専門学校の教員時代に培った留学生の進路指導の経験を活かして留学生の就職活動の支援を行っている。

表2 留学生の日本での就職に関する疑問（例）

<p><就職活動前の疑問（例）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生を採用する企業を教えてくださいか ・就職のための在留資格とは何ですか ・日本企業は留学生に何を求めていますか
<p><就職活動中の疑問（例）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力はどれくらい必要ですか ・日本企業の慣行を教えてくださいか ・留学生の求人の探し方を教えてくださいか
<p><就職活動後の疑問（例）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・何時から在留資格変更ができますか ・在留資格変更の手続きを教えてくださいか ・卒業後に継続就職活動はできますか

（出所）筆者作成。

このような機会では、留学生から就職に関する疑問を聞くことがあった。表2は、筆者が過去に留学生から聞いた日本での就職に関する疑問（例）を示したものである。留学生の日本での就職に関する疑問は、日本人学生と一部重なる部分もあるが、留学生に特有なものが多い。このような留学生が知りたいと思う就職活動で必要と考えられる情報を整理した教科書は、探索してみると非常に少ない。一方、日本人学生向けの就職活動で必要と考えられる教科書は、多く散見される。

3. 『留学生の就活入門』の構成

『留学生の就活入門』の目的は、日本で就職を目指す留学生が日本企業の就職活動について正確な知識を持てるようにすることである。この目的に沿うように、実務家教員や研究者教員で構成されるプロジェクトメンバー³⁾で留学生が日本の就職活動で必要と考えられる情報を整理した。『留学生の就活入門』は、大きく3つの部分に分かれている⁴⁾。

第1章から第3章では、「第1章 日本の産業界は留学生を求めている」「第2章 政策も法律も就職を後押しする」「第3章 それでも「就職の壁」が立ちはだかる」の3章で構成され、日本の産業界は留学生を求め、国策や法律等が留学生の就職を促進するものの、現状としては留学生の就職は容易ではない「就職の壁」について詳述している。

第4章から第7章では、「第4章 「就職の壁」を乗り越えるために」「第5章 志望企業を絞り込む」「第6章 エントリーシートを書く」「第7章 採用試験本番に臨む」の4章で構成され、第3章で取り上げた留学生の「就職の壁」を乗り越えるため、日本企業の採用活動の特性を踏まえた就職活動の心構えに加え、具体的な対策方法について詳述している。

第8章から第9章では、「第8章 在留資格の手続きを行う」「第9章 日本企業の仕組み」の2章で構成され、留学生が日本企業から内定を獲得後に行う在留資格変更の手続きに加え、日本企業で入社後に働く際に必要な法律や制度、慣習等の知識について詳述している。

特に、非漢字圏出身の留学生は、専門科目の学習の様子から漢字の読みが大きな壁となって学習の遅れとなっている場合が見られる。そのため、『留学生の就活入門』の本文は、縦書きで漢字の総ルビ化が図られた。『留学生の就活入門』の本文は、漢字や語彙が分からない時に電子辞書やスマートデバイス等を使い母語で意味を調べ易いものとなっている。このことによって、留学生や指導教員は、学習負担や指導負担の軽減に繋がる。目次は、日本で就職を目指す留学生の疑問に答える実用的なものを重視し、以下のような構成である。

表3 『留学生の就活入門』の目次

はじめに
第1章 日本の産業界は留学生を求めている
1 あなたが日本で就職する意味
2 あなたは専門型人材の一人
3 日本語能力試験 N1 合格をめざしましょう
第2章 政策も法律も就職を後押しする
1 留学生 30 万人計画
2 在留資格の緩和
3 出入国管理及び難民認定法の改正
4 変わる日本人の意識
第3章 それでも「就職の壁」が立ちただかる
1 日本独特の採用方法
2 留学生への高い期待水準
第4章 「就職の壁」を乗り越えるために
1 最優先すべきは日本語能力の強化
2 日本のビジネス習慣に関する理解
3 言葉遣いやマナーの習得
4 自分の「売り」を磨く
第5章 志望企業を絞り込む
1 就職活動全体の流れ
2 就職関連情報の収集方法
3 インターンシップ
4 プレエントリーと会社説明会
第6章 エントリーシートを書く
1 徹底した自己分析と分析結果の整理
2 エントリーシート作成の鉄則
3 自己PRのブラッシュアップ
第7章 採用試験本番に臨む
1 筆記試験・ウェブテストの対策方法
2 面接試験の臨み方
3 留学生への想定質問
第8章 在留資格の手続きを行う
1 在留資格変更
2 審査に必要な書類
3 審査のポイント
4 転職活動の注意点
第9章 日本企業の仕組み
1 採用から退職までの流れ
2 妊娠・出産・育児のルール
3 福利厚生
4 給与明細のチェックポイント
5 社会保険の諸制度
おわりに

4. 『留学生の就活入門』の使用方法

『留学生の就活入門』は、2021年4月から筆者の専門ゼミナールで使用する教科書に指定した。専門ゼミナールには、N2レベル相当以上の中国、ベトナム、ネパール、スリランカ、ミャンマー、モンゴル、ウズベキスタンの7カ国23名の留学生が所属している。専門ゼミナールでは、『留学生の就活入門』の学習範囲が春学期及び秋学期を通じて終了するようにスケジュールを組んだ。春学期の『留学生の就活入門』の学習範囲は、以下の通りである。

表4 春学期の『留学生の就活入門』の学習範囲

<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1週 専門ゼミナールの進め方（イントロダクション） ・ 第2週～第3週 第1章 日本の産業界は留学生を求めている ・ 第4週～第6週 第2章 政策も法律も就職を後押しする ・ 第7週～第8週 第3章 それでも「就職の壁」が立ちはだかる ・ 第9週～第11週 第4章 「就職の壁」を乗り越えるために ・ 第12週～第14週 第5章 志望企業を絞り込む ・ 第15週 授業総括

（出所）南雲・寺石編（2020）vi-x頁を参照し筆者が加筆した。

春学期の専門ゼミナールは、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえてMicrosoft Teams⁵⁾ によるオンライン形式で開講した。専門ゼミナールは、『留学生の就活入門』を活用し、輪読⇒日本語の学習⇒ディスカッション⇒章輪読後の課題、の手順で展開した。

4. 1 輪読

まず、専門ゼミナールでは、毎週に筆者が『留学生の就活入門』の輪読箇所を指定し、パラグラフごとに留学生を指名しオンライン上でカメラオンの状態で音読させた。指名した留学生の音読中は、音読を聴いている留学生に輪読箇所の意味内容が分からない日本語を見つけた場合はマークするように指示した。

4. 2 日本語の学習

次に、『留学生の就活入門』の輪読後、筆者は、留学生に輪読箇所マークした意味内容が分からない日本語を電子辞書やスマートデバイス等を使い母語で意味内容を調べるように指示した。その後、

留学生には、マークした日本語があった場合にオンライン上でカメラオンの状態で発表させた。その後、筆者は、留学生が発表した日本語の意味内容を解説した。

4. 3 ディスカッション

さらに、日本語の学習後、筆者は、毎週に『留学生の就活入門』の輪読箇所の内容理解を深めるために輪読箇所から2～3のテーマを事前に設定し、そのテーマに基づいて留学生にオンライン上でディスカッションの場を設けた。ディスカッションでは、筆者がファシリテーターとなり、ディスカッションへの参加を促しながら留学生に意見を発表させた。

4. 4 章輪読後の課題

最後に、章輪読後、筆者は、専門ゼミナールで『留学生の就活入門』の輪読、日本語の学習、ディスカッションを通じて、留学生が章の内容を理解できたかを確認するために、講義後にMicrosoft Forms⁶⁾を使用して課題を行った。この課題は、ディスカッションで取り上げたテーマについて留学生の考えを500字以上でまとめて入力する形式で行った。

5. 留学生に対するアンケート

春学期の第15週には、授業総括と共にMicrosoft Formsを使用して留学生に対する簡易なアンケート調査を行った⁷⁾。アンケート調査の主な項目は、以下の通りである。

- (1) 春学期の『留学生の就活入門』の内容は、理解できましたか（単一選択式）。
- (2) 春学期の『留学生の就活入門』の学習内容は、今後の就職活動に役立ちますか（単一選択式）。
- (3) 春学期の『留学生の就活入門』の学習で就職活動に役立つと思った内容を教えてください（記述式）。

アンケート調査は、専門ゼミナールに所属するN2レベル相当以上の中国、ベトナム、ネパール、スリランカ、ミャンマー、モンゴル、ウズベキスタンの7カ国23名の留学生を対象として行い、7カ国20名の留学生から回答が得られた。

表5に示されるように、アンケート調査の(1)の回答結果は、春学期の『留学生の就活入門』の内容は、「十分に理解できた」という回答が7割と最も多く、残りの3割が「ある程度、理解できた」という回答であった。

表5 (1) の回答結果 単位：人 (割合)

選択肢	回答
十分に理解できた	14 (70.0%)
ある程度、理解できた	6 (30.0%)
どちらとも言えない	0 (0.0%)
あまり理解できなかった	0 (0.0%)
非常に難しかった	0 (0.0%)

(出所) 筆者作成。

また、表6に示されるように、アンケート調査の(2)の回答結果では、春学期の『留学生の就活入門』の学習内容は、今後の就職活動に「十分に役立つ」と捉えた回答が8割と最も多く、残りの2割が「ある程度、役に立つ」「どちらとも言えない」という回答であった。

表6(2)の回答結果 単位：人(割合)

選択肢	回答
十分に役立つ	16 (80.0%)
ある程度、役に立つ	3 (15.0%)
どちらとも言えない	1 (5.0%)
あまり役に立たない	0 (0.0%)
まったく役に立たない	0 (0.0%)

(出所) 筆者作成。

アンケート調査の(3)の回答結果は、春学期の『留学生の就活入門』の学習で就職活動に役立つと思った内容について留学生の記述(例)を一部抜粋すると、以下の通りであった。

- ・留学生の就活入門を学習して将来的に面接行く時のマナーとか様々なルールを学びましたのでとても役に立つと思います(ネパール出身)。
- ・第4章「就職の壁」を乗り越えるために(モンゴル出身)。
- ・会社の採用方法です(中国出身)。
- ・日本である就職文化を詳しく学びました。これから後輩の方に説明もできます(スリランカ出身)。
- ・先生の授業受けていろいろ会社説明会とかおぼえました(ウズベキスタン出身)。
- ・ビザ更新の知識がわかりました(中国出身)。
- ・留学生の就職入門の学習で就職活動に役に立つのは日本語のレベル、就職するマナー、社会人になる前に準備などとても役に立ちます(ネパール出身)。
- ・日本のビジネス習慣(ミャンマー出身)。
- ・就職活動全体の流れ(中国出身)。
- ・留学生の就活入門の学習で私はいろいろないい情報ももらいました。例えば、面接の準備とか(ベトナム出身)。

このように、アンケート調査(1)及び(2)の回答結果や(3)の留学生の記述(例)からは、留学生が専門ゼミナールで『留学生の就活入門』の学習内容が理解でき、就職活動に役立つ内容であったと考えられる。

6. おわりに

『留学生の就活入門』は、留学生の就職支援教材として2020年に出版された。その後、『留学生の就活入門』は、2021年4月から筆者の専門ゼミナールの春学期及び秋学期に使用する教科書に指定し、

『留学生の就活入門』の学習範囲が春学期及び秋学期を通じて終了するようにスケジュールを作成し、使用方法を模索しながらオンライン形式で春学期に活用した。今後は、春学期と同様に秋学期も『留学生の就活入門』を活用し、留学生の意見を踏まえて使用方法を模索しながら留学生の就職支援に努めていきたい。

また、留学生の就職環境では、就労資格の選択肢の拡大や在留資格「特定技能1号」に関連した求人増加、新型コロナウイルス感染症に伴うインバウンド需要の減少、就職活動のオンライン化等の新たな動向が散見される。このような新たな動向についても継続的に注視したい。

謝辞

『留学生の就活入門』の分担執筆のご機会をいただいた一般社団法人留学生就職サポート協会理事長の南雲智先生（東京都立大学名誉教授）、大妻女子大学キャリア教育センター教授の寺石雅英先生（群馬大学名誉教授）に深く感謝申し上げます。また、共に分担執筆の協業に取り組んだ日本経済大学大学院教授の松尾敏行先生、日本経済大学専任講師の竹内健太先生に深く謝意を表します。さらに、アンケート調査にご協力いただいた日本経済大学で勉学に励む専門ゼミナールに所属する留学生の皆様にも感謝申し上げます。

注

- 1) 法務省（2018）.「2017年末現在における在留外国人数について（確定値）」, http://www.moj.go.jp/isa/publications/press/nyuukokukanri04_00073.html,2021年9月30日。
- 2) 法務省（2018）.「【2017年末】確定値公表資料」, <https://www.moj.go.jp/isa/content/93000615.pdf>,2021年9月30日。
- 3) プロジェクトメンバーは、一般社団法人留学生就職サポート協会理事長の南雲智先生（東京都立大学名誉教授）、大妻女子大学キャリア教育センター教授の寺石雅英先生（群馬大学名誉教授）、日本経済大学大学院教授の松尾敏行先生、日本経済大学専任講師の竹内健太先生、筆者らの5名で構成される。
- 4) 南雲智・寺石雅英編（2020）iii-iv頁を参照し筆者が加筆した。
- 5) Microsoftのオンライン会議ツールのことである。
- 6) Microsoftのアンケート機能のことである。
- 7) アンケート調査は、7月26日（月）の専門ゼミナールの第15週の講義時間に実施した。

文献一覧

- 南雲智・寺石雅英編（2019）.『留学生の日本就職ガイド2021』, 論創社。
- 南雲智・寺石雅英編（2020）.『留学生の就活入門－日本で就職したい留学生のために』, 論創社。
- 法務省（2018）.「2017年末現在における在留外国人数について（確定値）」, http://www.moj.go.jp/isa/publications/press/nyuukokukanri04_00073.html,2021年9月30日。
- 法務省（2018）.「【2017年末】確定値公表資料」, <https://www.moj.go.jp/isa/content/93000615.pdf>,2021年9月30日。
- 法務省（2020）.「2019年における留学生の日本企業等への就職状況について」, <http://www.moj.go.jp/isa/content/001336801.pdf>,2021年9月30日。